

11 月の上木皆伐でもトドマツ稚幼樹の成長を促すことに成功

トドマツ人工林資源が収穫適期を迎えましたが、労働力不足や植林コストの上昇から、再造林が進むかが懸念され、天然更新に期待する林業関係者もいます。人工林内に天然更新しているトドマツ稚幼樹は上木を皆伐すると赤茶色に変色して枯れるという伝聞がありましたが、積雪期(2月)の上木皆伐では、約半分の稚幼樹は枯れずに旺盛な成長を開始しました(グリーントピックス 53号)。

今回は、非積雪期(11月)に上木皆伐しても同様の結果が得られるかについて、前報の調査地に近いトドマツ人工林皆伐地(えりも町庶野)において、皆伐前から天然更新していたトドマツ稚幼樹 29本を皆伐直後から4シーズン観察し報告しましたので(中川 2024 森林計画学会誌 58 巻1号)、その内容をご紹介します。



写真-1 皆伐から6ヶ月後の着葉状況



写真-2 皆伐から2年後の着葉状況

皆伐から6ヶ月後、伐採前から着いていたトドマツ稚幼樹の葉の大部分は赤茶色に変色しましたが(写真-1)、皆伐から2年の間に褐変した葉は落葉し、枝先には皆伐後に開葉した2年分の健全な葉が着いていました(写真-2)。皆伐3年後には、多くの個体で枝もしくは側芽が立ち上がって上長成長を始め(図-1、写真-3)、皆伐から3年9ヶ月後の段階で生残率は52%でした。

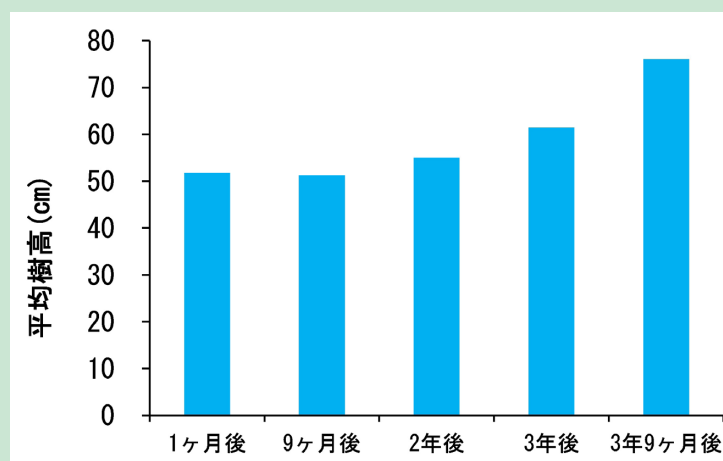


図-1 皆伐3年9ヶ月後に生存していた稚樹の平均樹高の推移



写真-3 皆伐から3年後の着葉状況

今回の調査から、11月の上木皆伐でも林床に天然更新しているトドマツ稚幼樹の成長を促すことができる場合があることがわかりました。(育種育苗 G 中川昌彦)

林業試験場 本 場 TEL 0126-63-4164 FAX 0126-63-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 0156-64-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/index.html>
facebook <https://www.facebook.com/ringyoshi>

発行年月 令和7年2月
発 行 地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
森林研究本部 林業試験場
〒079-0198 美咲市光珠内町東山